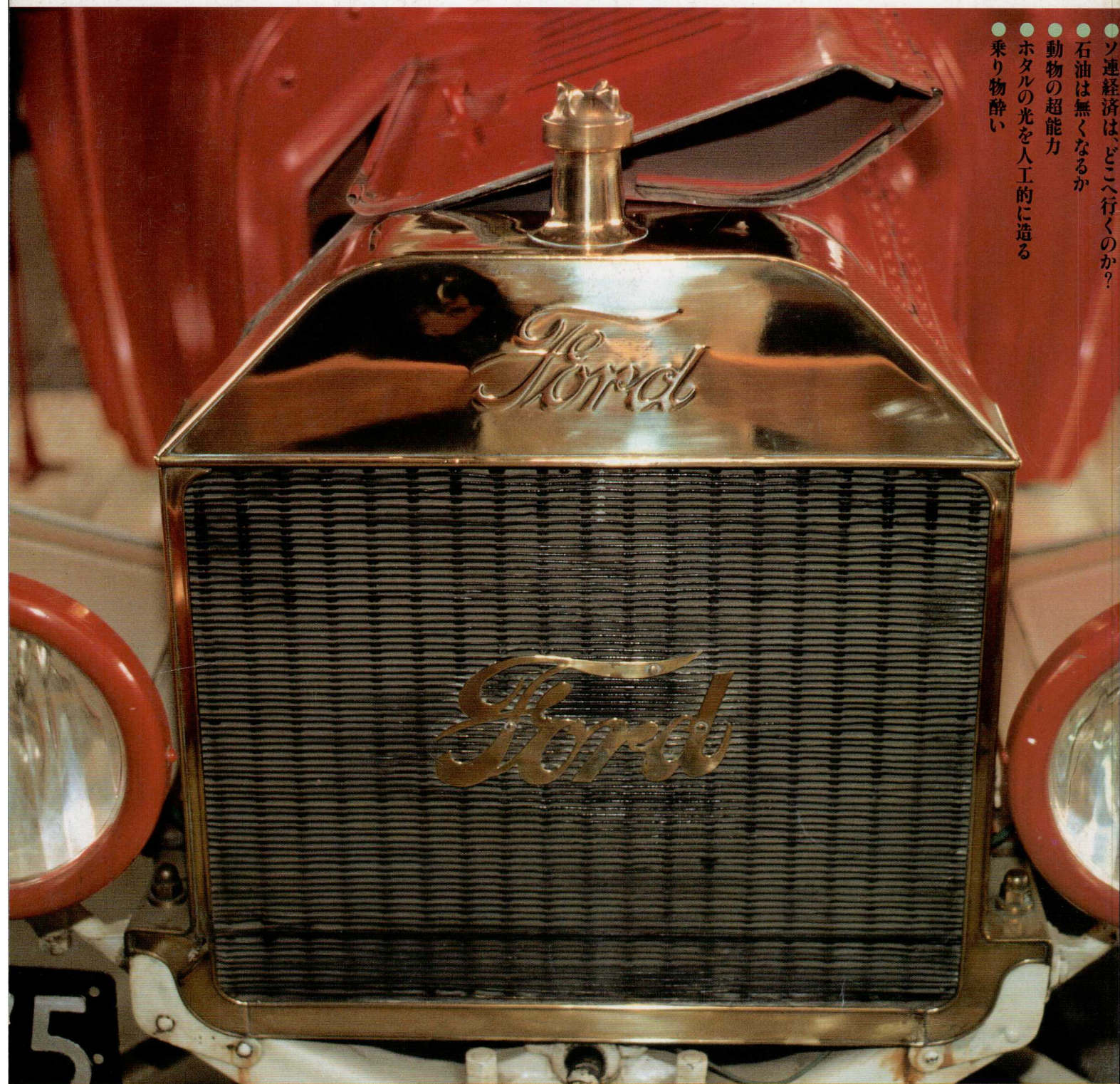


KOSHO

第13号
平成2年4月発行

- ソ連経済は、どこへ行くのか?
- 石油は無くなるか
- 動物の超能力
- ホタルの光を人工的に造る
- 乗り物酔い



自動車技術会関東支部報〈高翔〉

ソ連経済は、どこへ行くのか? ●木村 汎	3
飛行船船長奮闘記 ●喜志 誠	6
石油は無くなるか ●酒井 功	9
深海底資源の将来 ●山口梅太郎	14
動物の超能力 ●小野泰正	19
ホタルの光を人工的に造る ●中野衛一	22
乗り物酔い ●松永 亨	26
ドライバーから見て飛行機は自動車とはどう違う ●高木 猛	30
ロケットのメカニズムについて ●岡屋俊一	36
『農』を愉しむニューコンセプト・トラクタでブレーク・スルーを狙う ●宮沢 武	40
フランスの自動車博物館訪問記 ●樋口健治	44
支部通信	49
あとがき	52

〈表紙解説〉

表紙のクルマは、誰が見ても一眼でそれと分かるT型フォードであり、世界中の著名な自動車博物館で実物を見ることが出来る。
デザイン・コンセプトと今風にいえば、庶民のためのクルマとして、構造簡単、取り扱い容易、故障僅少、価格低廉、等々で、直列4気筒2.0ℓで20Hpのエンジンで毎時最高80kmの性能を出す、というヘンリー・フォードの哲学で造られている。
したがって1908年から1927年までの間に1500万台以上も売り出され、我が国をはじめイギリスやドイツなど主要国で造られ、最盛時にはアメリカ車の1/2、世界中の1/3がT型で占められていた。
しかし実用一点張りの黒一色のボディは、やがてスタイルや内外装に重点をおいたシボレーに人気を奪われることになる話も知れわたっている。

(樋口健治)